



本気・根気・元気

令和7年1月23日発行【第9号】

発行者：佐賀市立昭栄中学校

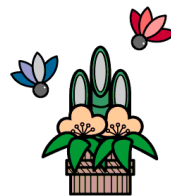
校長 永田 康子

学校教育目標：夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成 - 自律・協働 -

生徒会スローガン：常識を覆せ！～Shoei of Students, by Students for Students～

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

今年度は、保護者や地域の皆様に体育大会や文化発表会、合唱コンクールなど学校行事や授業参観に多く足を運んでいただきました。おかげさまで生徒たちのやりがいが高まりました。大変ありがたく思っております。今後も、家庭や地域との強い連携を図るなかで、生徒たちが生き生きと学び成長していけるようご協力のほどよろしくお願いいたします。



さて、1月になり、各学年とも締めくくりの時期となりました。生徒たちは、この節目の中でこれまでの学校生活を振り返ったり、次年度に向けた目標を立てたりしていることと思います。それぞれの学年や立場に応じた夢や目標の設定は、その後の成長に重要な役割を果たします。ご家庭でも、夢や目標について話題にいただければと思います。

令和7年生徒会始動

3学期始業式の日に、新生徒会役員の生徒たちに任命状を渡しました。生徒会副会長、書記、各部委員会会長に任命された20名は任命状とともに責任の重さをかみしめたことと思います。今年の生徒会のスローガンは「常識を覆せ！～Shoei of Students, by Students for Students～」です。「常識を覆せ！」という言葉は、変革や革新性をイメージさせ、未来を切り拓くという強い意志が込められています。また、サブテーマには、「生徒の生徒による生徒のための昭栄中学校」という意味で、生徒会は生徒のためにあり、生徒自身が行うものであることを表しています。今年のスローガンからは、新しいことに挑戦し、生徒のための生徒会をつくり上げていくという強いメッセージが伝わってきます。これは、本校の学校教育目標である「夢に向かって たくましく 挑戦する生徒の育成～自律・協働～」につながっていきます。以下は、3学期始業式の校長講話で生徒たちに伝えた内容の一部です。

私たちが普段あまり疑問を持たずに使っている「当たり前」や「常識」などの言葉がさしている事柄については、ときどき疑ってみる必要があります。なぜなら「当たり前」や「常識」の中には、時代と共に変わるもの、場所によって変わるものがあるからです。そして、人によって「当たり前」や「常識」は違うということさえあります。しかし、ただひねくれたものの見方や、単に反抗したいから疑ってかかるわけではありません。物事を疑ってみるには、問題点を正確に捉える必要があります。あいまいなことを具体的な表現に落とし込んだり、筋道を立てて考えたりする必要もあります。(中略)これからみなさんが生きていく社会は、課題も多く、すぐには答えがでない、もしくは唯一の答えがないこともあります。一人では解決できない難しいこともたくさんあります。だから皆さんはこの昭栄中学校で仲間と共に日々学んでいるのです。

今日から3学期が始まります。今学期の学びの中で大切にしたいことのひとつが、「当たり前ってなんだろう」「常識ってなんだろう」です。疑問に思ったら、そもそもなぜそれが当たり前なのか、誰にと

って当たり前なのか、本当にそうなのか冷静に考え、もし、変えたほうがよいものがあれば、筋道を立てて改善へ導いてください。一人では、すぐに答えが見つからなくても、頼り頼られる仲間と共に考え続けてください。

1月17日（金）には生徒総会が行われました。久しぶりに体育館に全校生徒が集まったの総会でした。私は前半だけ参観しておりましたので、総会終了後に生徒会長、副会長から総会の様子や決定事項について報告を受けました。生徒たちが本気で昭栄中学校を自分たちの力でますます良くしていくことに大いに期待しています。本校生徒会活動については、HPに随時掲載しておりますので是非ご覧ください。

受験は成長のチャンス

3学期になり、いよいよ3年生の受験がスタートしました。3年生は、自己実現に向けて、授業中の学ぶ姿に真剣さが増しました。1年生は2年後、2年生は1年後にやってくる高校受験を見据え日々の学びを大切にしてほしいと思います。3年生はまさに受験の真ただ中で、大いに奮闘していることと思います。2年生や1年生は受験することに対してなんとなく不安な気持ちになることもあるかもしれませんが、受験を自分自身が大きくステップアップする機会と捉えるとよいと思います。以下は、高校受験を通して成長が期待されることです。ご家庭でも話題にしてください。

1. 計画性と自己管理能力の向上
 - ・志望校合格のために、学習するスケジュールを立て、計画的に取り組み努力する習慣が身につく。
 - ・時間の使い方や優先順位のつけ方を学ぶことは、将来の社会人生活にも役立つ。
2. 忍耐力と継続力の向上
 - ・目標達成のために努力を続けることで、困難を乗り越える力や粘り強さを養うことができる。
 - ・失敗や思い通りにいかない経験を通して、さらに挑戦しようとする精神が育まれる。
3. 自己理解の深化
 - ・自分の得意や不得意を知ること、今後の学習方法やキャリアの選択に役立つ。
 - ・自分の目標や将来について真剣に考えるきっかけになる。
4. ストレス耐性の向上
 - ・受験に向けたプレッシャーや競争を経験することで、緊張感に対処する力が身につく。
 - ・受験本番での集中力や精神的な強さを養うことができる。
5. 達成感と自信の獲得
 - ・合格という成功体験を通じて、自信をもつことができ、次の目標に向かう意欲が高まる。
 - ・挫折を経験した場合でも、そこから学び、次につなげる力が育つ。

高校受験は、試験に合格するための学力向上だけでなく、自分自身を知り、成長するための貴重な機会です。この経験を通して、将来の人生に役立つ多くのスキルや考え方を身につけることができます。ただただ大変なことだと受け止めず、自分磨きのチャンスにしてほしいと思います。

3年生は、体調管理に気を付け最後まで全力を尽くしてください。応援しています！

本校の校門付近はいつもきれいに整っています。ゴミひとつなく、落ち葉さえ見当たりません。毎朝、近所にお住まいの方が掃き掃除をしてくださっているからです。生徒たちが登校する前には美しく整っています。いつもありがとうございます。心より感謝申し上げます。